



統合失調症

～ファーストエピソードへの支援～

統合失調症のAさん(25歳)

大学生の頃から周りの音が気になり、授業に集中できないことがありました。就職してストレスが増えると、悪口が聞こえてきて会社に行けなくなりました。クリニックで診断を受けて、当センターへの入院をすすめられました。

相談支援

必要な福祉サービス等の調整を行うことで、地域での生活を応援します。

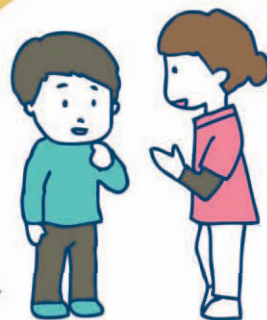


※院内に相談支援センター鹿田があります。

将来的には一人暮らしをしたいので、どんなサービスが利用できるか、相談支援専門員さんに相談しています。

入院治療

十分な休養と、症状を和らげるための薬物治療を開始します。



※通院治療の場合もあります。

先生からは「安心して休んで下さいね」と言われました。病室でも不安で仕方がなかったけど、看護師さんがすぐ近くにいて、何度も声を掛けてくれました。

作業療法

作業を通して心と体の調子を整え、希望する生活が送れるようリハビリを行います。



中庭で作業療法士さんとキャッチボールをしました。徐々に体を動かして、気持ちが少し明るくなりました。



訪問看護

訪問看護スタッフがご自宅へ訪問し、病気の安定と自分らしい生活ができるよう応援します。

病気になって「これからの人生はどうなるんだろう」と不安でしたが、相談できることで、病気と上手に付き合えるようになりました。仕事と趣味を両立することもできるようになりました。

デイケア

①生活リズムの安定 ②病気の理解 ③就労支援の3つのコースがあります。入院中から利用できます。



SST(生活機能訓練)では「会社を休む時に上司に何て言う?」という題でグループワークをしました。退院後の復職についても前向きな気持ちになりました。

家族支援

家族が病気の対処法を学び、他の家族と交流して体験を共有することができます。

【家族教室プログラム】
家族ゼミナール(月1回)
F-SPEAK(全4回)



「何が悪かったのか、どう接したらいいのか」と悩んでいましたが、いろんな話を聞くことができ、気持ちが楽になりました。

今のAさん

職場復帰し、毎日自転車で通勤しています。仕事が忙しくなると周りの音が気になることもありますが、「これは幻聴だ」と思って乗り切るように工夫しています。一人暮らしができるように、毎日頑張っています。



心理教育

自分の病気について知り、回復と再発予防について一緒に考えます。

今回は公認心理師さんと一緒に、病気について学びました。今まで聞こえていた悪口は、幻聴という症状だと思えるようになりました。

【疾病理解プログラム】
ステップ(全4回)



詳しくはHPを見ていただくか、地域連携室までお気軽にお問い合わせください



地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

■住所 / 〒700-0915 岡山県岡山市北区鹿田本町3-16
■代表 / tel.086-225-3821 fax.086-234-2639
■連携室直通 / tel.086-225-3833 fax.086-225-3855
■受付時間 / 9:00~16:30